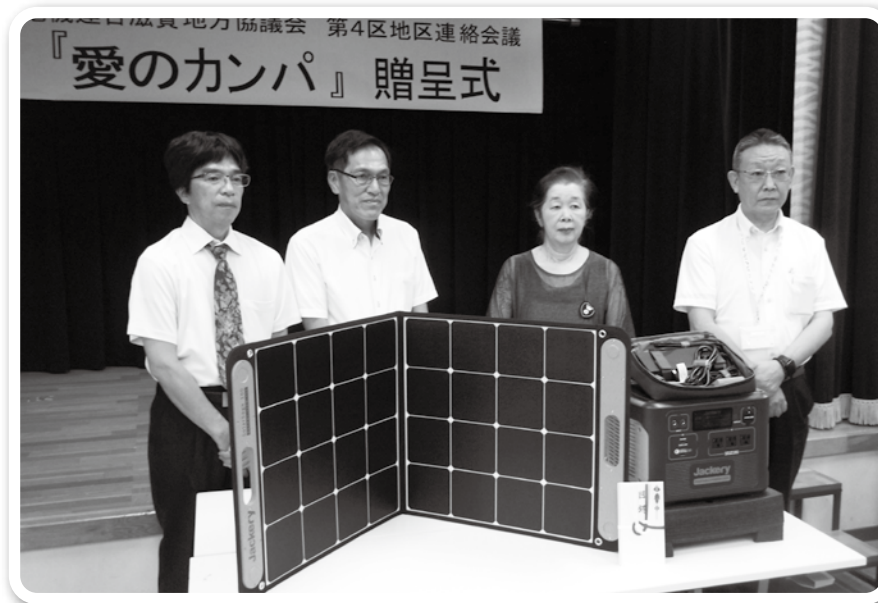


おうみはちまん

災害時の電源供給に威力を発揮する 「ポータブル電源とソーラーパネル」の寄付！



◀災害時に威力を発揮する蓄電池とソーラーパネルの寄付

▼目録を受け取る高木副会長



7月27日、電気連合滋賀地方協議会第4区地区連絡会議（奥田修議長）から、市社協に対して「地域の福祉活動に使ってください」と、「ポータブル電源とソーラーパネル（25万円相当）」の寄付を受けました。災害など停電時に電源の確保が難しい状況に、ソーラーパネルで太陽光によって発電した電気をポータブル電源に蓄電することで、防災時の緊急電源として使用することができるものです。

同第4区地区連絡会議は、電機産業の労働組合で湖東地域の4市2町、10組合が加入されています。毎年「愛のカンパ活動」を続け、「僅かではありますが、社会貢献活動として、この度の寄贈となり、有効に使ってください。」と。

寄贈を受けた市社協は、「台風シーズンを迎えるなど、昨今の線上降水帯など異常気象の折、万が一の災害に備え、使わせていただきます。」とお礼のあいさつを述べました。

目次

赤い羽根共同募金について.....	2
社会福祉大会・福祉ボランティア講座について.....	3
お知らせ（心配ごと相談・善意銀行など）.....	4



社会福祉法人 **近江八幡市社会福祉協議会**

ホームページ <http://ohshakyo.or.jp/>

近江八幡市土田町1313 TEL：0748-32-1781 FAX：0748-36-6910
E-mail:ohshakyo@gmail.com



ホームページは
こちら

自分のまちをよくするしくみ

10月1日から赤い羽根共同募金が始まります



近江八幡市共同募金委員会
インターネットからでも募金できます
募金はこちらから

【運動期間10月1日～12月末日】

共同募金運動は昭和22年に「国民たすけあい運動」として始まって以来、赤い羽根募金として広く定着してきました。住民同士が助け合い、子どもから大人まで一人ひとりが安心して暮らせるようこの取り組みは、社会が大きく変わる中でますます重要になっています。

新型コロナウイルス感染症の拡大により、人々のつながりを保ちづらい状況にありますが、赤い羽根共同募金は、つながることをあきらめず、孤立、孤独の問題に対して取り組む活動を応援し、共同募金にお寄せいただいた寄付金は、市内のさまざまな福祉活動の財源として活かされています。

本年も10月1日から全国一斉に運動が実施されます。近江八幡市の募金額は、年々減少傾向にありますが、私たちの町を良くするために、皆さまのあたたかいご支援とご協力をお願いします。

令和3年度の募金額と使いみち



赤い羽根共同募金 5,524,445円



滋賀県内の福祉助成に 3,011,828円
滋賀県共同募金会を通じて県内の福祉事業への助成に充てられます
(防災機器整備・県内福祉施設整備等)
(市内のひきこもり・不登校などフリースクール活動助成など)



近江八幡市内の福祉活動助成に 2,512,617円
(高齢者・障がい者見守り活動助成、ボランティア団体助成、福祉推進校助成等)



歳末助け合い募金 3,778,141円



市内各学区社会福祉協議会が行う、高齢者・障がい者のための福祉事業
(敬老長寿祝金、配食サービス、見守り活動など)



市内生活困窮者の生活支援事業



昨年度赤い羽根共同募金で助成を受けられた市内福祉活動団体を紹介します

● ボランティア団体



▲安土手話サークル「絆」

聴覚障がい者の理解と交流を図るため、手話言語の習得及び普及に活動しておられます。

● 当事者団体



▲スキップハート

中学生のダウン症児を対象に、ダンスを通じて、体力づくりやリズム感の養成を行っておられます。保護者同士の交流や、情報交換会等を開催されています。

● 高齢者見守り活動



▲おさだ見守り支えあいの会

高齢者を中心に気になる世帯の見守り、声掛け訪問活動をされています。

第12回社会福祉大会を開催！ ～第2回地域福祉リーダー養成研修を同時開催～

日時 令和4年10月1日（土）13時30分開会 16時閉会

場所 近江八幡市文化会館 小ホール

※近江八幡市文化会館への入場は受賞者の方に限らせていただきます。

主催 近江八幡市 社会福祉法人近江八幡市社会福祉協議会

第1部 式典 13時30分～14時20分

近江八幡市長表彰状授与

近江八幡市社会福祉協議会長表彰状・感謝状授与

第2部 シンポジウム 14時30分～16時

オンライン会場 近江八幡市総合福祉センター

ひまわり館

テーマ 地域共生社会の実現に向けて

講師 龍谷大学短期大学部長 中根 真教授

～見守り支え合い隊実践者や子ども支援活動者などのパネリストによるシンポジウム～

社会福祉大会は、地域福祉計画・地域福祉活動計画の推進に向けて、「違いを認め合い、おたがいさんの思いを次の世代に伝え助けてと言える地域にしたい」「一人ひとりができることをいかして、喜びやつながりが実感できる地域にしたい」という地域共生社会の実現に向けて、地域での取り組みから参加者と共に学び、できることから取組みが広がっていくことを期待します。

第1部式典では、永年本市の地域福祉の発展にご尽力いただいた方々に感謝の意を表します。

福祉ボランティア講座を開催しました！

「身近な福祉を知って、感じて、そして話し合おう！」をテーマに、自分にできることを考え、福祉ボランティアへの関心を高めようと、講師（活動家）の話を聴いて、ワークショップ形式で4回シリーズを実施。それぞれの講座での様子や、参加者からの感想などを紹介します。

今回の講座では、中・高校生から80代の方（延べ60名以上）に参加いただき、世代を超えた交流、福祉ボランティアの本音の話ができ、「自分に何ができるか、次の行動へのきっかけづくり」となるよう、次世代につなげていきたいものです。

（参加者からの意見・感想）

第1回「外国人も日本人も、ともに生きる社会を目指そう」

～心のカベや差別のことを考え、日本語の難しさを克服するために「やさしい日本語」にチャレンジ！～

- 今までは英語が話せなくて、話しかけづらかったけど、やさしい日本語なら使えると思うので外国の人と話すハードルが下がった。
- 実際に活動されている方々の生の声が聞いて良かった。知らないことと気づかないことの多さを実感しました。

第2回「子どもの貧困を考えよう」

～子どもたちを支えるために、子どもたちに笑顔を取り戻すために子どもたちの居場所をどうつくっていくか～

- 子どもの貧困について知識がないので学びにきました。話を伺うだけでも胸が痛くなり、生きづらさを抱える子どもたちに自分は何ができるか考えるきっかけになりました。
- 実例の話もあって、興味深かった。学生の方が一緒にワークショップが楽しかったです。

第3回「手話で仲間になろう」

～障がいをお持ちの方（難聴・盲ろうなど）の実生活・実体験を話していただき、自分の思いをどう伝えるか、何ができるかを考える～

- 1文字ずつの指文字だけでなく、漢字を手話で表す方法があることを初めて知りました。
- 今まで、ジェスチャーのみで伝えることしかできなかったけど、伝え方の仕方を新しく知ることができて良い経験になりました。

第4回「受講者どうしで交流しよう」

～4回の講座を通じて、思い・感想を述べて、福祉ボランティア活動につなげていこう！～

- たすけあい、出来ることからやっていきます。
- 福祉を考えるきっかけになりました。助け合っていける社会になってほしい、自分も何かしたいと思います。とても良い講座なので、またあれば参加したいです。

心配ごと相談所



どこに相談すればよいのか・・・。
そんな時は、近江八幡市社会福祉協議会へお気軽にご相談してください。

相談日：平日の偶数日（祝日を除く） 13時～16時
場所：総合福祉センターひまわり館

9月

				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

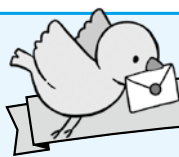
10月

						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23/30	24/31	25	26	27	28	29

11月

		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

ありがとうございます！
ございます！



善意銀行便り

令和4年6月16日～令和4年7月31日

心温かいご寄付をいただきました。皆さまのご厚意に感謝申し上げます。
社会福祉や地域福祉活動に活用させていただきます。

(敬称略・順不同)

預託

◆寄付金

- 国際ソロプチミスト近江八幡 100,000円
- 匿名3件 210,430円

◆寄付物品

- 近江八幡地区労働者福祉協議会 食料品36点

- シマダヤ西日本株式会社 滋賀工場 長靴4足、作業着6枚
- 岡田 和久 玄米30kg
- 電機連合滋賀地方協議会第4区地区連絡会議 ポータブル電源1点
ソーラーパネル1点
- 匿名7件 日用品1点、食料品47点
衛生用品40点、米10kg、食材16kg

払出

◆払出物品

- 生活困窮者 ... 食料支援5件、日用品5件
- 子ども食堂 食料品50点、米10kg
食材16kg

楽しいひととき いっまでもお元気で！「あずみグループ」



▲利用者さんとことば遊び！

デイサービスや老人ホームのお年寄りに、おいしいコーヒーを飲んでもらったり、ゲーム（ことば遊びや手品など）で心地よい時間を過ごしてもらおうと活動されています。

20年以上、デイサービスや老人ホームの訪問活動を進め、現在は、75歳以上の気の合った6人で、「利用者のにこっとしたお顔を見たくて。施設での夏祭りやフェスティバルなどにもお呼びいただいて、元気をもらっています。デイサービスひまわりサテライトの閉所で、少々寂しい

ですが、元気に過ごしてください。」と。利用者のみなさんも、感謝の気持ちで、ことば遊びに元気に大きな声で受け答えをされ、楽しいひとときを過ごされていました。



▲利用者の方のためにコーヒーをふるまっています。

編集後記

今年も赤い羽根共同募金の始まる季節になりました。毎年、ご協力いただきありがとうございます。コロナによる影響がまだまだ続いており、募金の環境はますます悪くなって、年々募金も減ってきています。大変な時期ではございますが今年も募金のご協力をお願いします。

この広報紙は会費と共同募金の助成金でつくられています



- インキ：環境配慮型インキ（植物油インキ or ノンVOCインキ）
- 印刷：有害な廃液を排出しない水なし印刷

ふくしのお困りごとは
市社協まで！ 0748-32-1781